

小説トリッパー 1995 年夏季号

[特集]作家がよく行く書店

島田雅彦／大鶴義丹／藤堂志津子／杉本章
子／高村薫／綾辻行人／宮城谷昌光

パリ古本探しの旅
荻野アンナ

夢を読み解く二人がお互いの心を覗いてみ
ました
夢の向こう側
河合隼雄×吉本ばなな

エッセイを上手に書く秘訣がいっぱい [特集]誰でもエッセイストになれる

醒めた目でドライな文章を
泉麻人×白石公子×玉村豊男

耳と目がモノ書きの基本だ
永倉万治

漫画家も雑文書きもサービス業
石坂啓

エッセイストになるための文庫本 100 冊
坪内祐三

私がすすめるエッセイこの 1 冊

仏留学からエッセイストになるまでの半自
伝
エッセイスト[抄録]
玉村豊男

第 6 回朝日新入文学賞発表

受賞作「天使の骨」
中村可穂

[創作ほか]

椎名誠 「対岸の繁栄」
清水義範 「アメリカ合衆国の歴史」
高樹のぶ子 「夢魚」
佐藤亜紀 「プラハのカフェ」

[連載]

河合隼雄 おはなしコレクション「はなし
のはじまり」
久世光彦 「謎の母」
大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「H
(ヘルメノイティコス)」
高橋源一郎 文学なんかこわくない「タカ
ハシさん、『オウム』を読む」
池澤夏樹 ヒトの肖像「トロイ戦争は起こ
らない」
氷室冴子 冴子の古典散歩「母親なるもの」
阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「東京・歌
舞伎座 義経千本桜」
吉岡忍 ノンフィクションの窓から「カナ
リアは小説家か」

[コラム]

南條竹則／浅田次郎／野中柊

小説トリッパー 1995 年秋季号

[特集]性と愛の小説特集 1

H氏の秘密の本棚

伴田良輔

性の深層都市アムステルダム

古川誠

作家がよく行く書店

落合恵子／山本昌代／酒見賢一／松村栄子

作家に学ぶワープロ・パソコン活用術

栗本薫／川又千秋／我孫子武丸

[特集]性と愛の小説特集 2

新鮮な性表現を求めて

林真理子・インタビュー

平成言文一致体とジェンダー

上野千鶴子

性と愛の文学を愉しむ文庫本 100 冊

杉山由美子

あれのない女の子が、街中を闊歩している

香山リカ

オッサン入ってます

斎藤綾子

朝日新人文文学賞受賞第一作

「キングさん」

中山可穂

「森の時代」

稲葉真弓

カルヴィーノの未来のための文学講義

イタロ・カルヴィーノ

[連載]

久世光彦 「謎の母」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「ヘルメーティッシュ(隠された)」

氷室冴子 冴子の古典散歩「“王朝物語”と“いま”をゆききする女の子」

池澤夏樹 ヒトの肖像「同心円の世界図」

高橋源一郎 文学なんかこわくない『恋愛太平記』はバカでも読めるか？」

河合隼雄 おはなしコレクション「桃太郎」

原田宗典 その話お変わりございませんか
「『巨人・大鵬・玉子焼き』の頃」

阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「京都・南座 弁慶上使」

吉岡忍 ノンフィクションの窓から「お地蔵さんの生きる場所」

[エッセイ]

私が小説を書き始めた頃

久美沙織／折原一／久間十義

第 7 回朝日新人文文学賞応募要項

小説トリッパー 1995 年冬季号

[特集]名探偵篇 ミステリーの楽しみ方

シャーロック・ホームズは生きている

小林司

ロンドン古本探しの旅

瀬戸川猛資

カバー・アートで見る世界の名探偵

森英俊

作家がよく行く書店

小川洋子／藤本ひとみ／桐野夏生／柳美里
／篠田節子

名探偵ワールドへようこそ

[対談]

本格ミステリーに「第3の波」がやって来た

笠井潔 vs. 島田荘司

[名探偵短篇競作]

鼠が耳をすます時 山口雅也

水難 麻耶雄嵩

ウシュクダラのエンジェル 篠田真由美

ある蒐集家の死 二階堂黎人

禁じられた遊び 法月綸太郎

名探偵のプロフィール

大森望

名探偵の正体

巽昌章

ミステリー通になるための文庫本 100 冊

北村薫

[創作]

餛飩商売 椎名誠

パソコンで小説を書く方法

井上夢人

大石英司

[連載]

大原まり子 ヘルメス・ネットワークカー「ヘ
ラクレス・ゲーム」

河合隼雄 おはなしコレクション「白雪姫」

池澤夏樹 ヒトの肖像「ミトコンドリアの
由来」

久世光彦 「謎の母」

氷室冴子 冴子の古典散歩「体育会系の右
近少将」

原田宗典 その話お変わりございませんか
「『おおモーレッツ!』の頃」

阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「香川・金
丸座 廓文章」

吉岡忍 ノンフィクションの窓から「旅行
の視線」

[エッセイ]

私が小説を書き始めた頃

鷺沢萌／佐伯一麦／新井素子

小説トリッパー 1996 年春季号

フィレンツェ・ボローニャ 古本探しの旅
和田忠彦

作家がよく行く書店 取材・文／藤村朋子
松本侑子／楡井亜木子／坂東眞砂子／有栖
川有栖

[特集]心の癒しをめぐる

N.Y.最新ヒーリング散歩
平野共余子

日本の心療医たち 取材・文／杉山由美子
中澤正夫／滝口俊子／森川那智子／町沢静
夫

[対談]

仏教と癒し
河合隼雄 vs. 中沢新一

こころの不思議を読みとく文庫本 100 冊
香山リカ

人は宗教で癒されるか
橋爪大三郎

“心の時代”ブームを診断
泉麻人／落合恵子／小田嶋隆／横森理香／
山崎浩一

長編小説
「占術家入門報告」
中沢けい

インターネットで本を買う方法

野口悠紀雄 取材・文／神田憲行

[連載]

高橋源一郎 文学なんかこわくない「タカ
ハシさん、日記を読む（書く）」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「ヘ
ロデ王たち」

河合隼雄 おはなしコレクション「絵姿女
房」

久世光彦 「謎の母」

氷室冴子 冴子の古典散歩「仕返しの快感」

池澤夏樹 ヒトの肖像「グランド・デザイン
の不在」

原田宗典 その話お変わりございませんか
「『シェー！』の頃」

阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「大阪・中
座 恋飛脚大和往来」

吉岡忍 ノンフィクションの窓から「パソ
コン熱の中で」

[エッセイ]

私が小説を書き始めた頃
東野圭吾／津島佑子

小説トリッパー 1996 年夏季号

アメリカ南部 古本探しの旅
越川芳明

[特集]宮沢賢治はいつも新しい
賢治文学散歩
文・高橋直子 イラスト・磯田和一

科学と詩の心をひとつに
佐治晴夫

宗教と科学は対立しない
河合隼雄 vs. 中沢新一

ポラーノの広場に集う者
池澤夏樹

賢治は世界初の宇宙飛行士
毛利衛・インタビュー

トトロと『どんぐりと山猫』
宮崎駿・インタビュー

ブッダとビートルズ 宮崎信也
アスラからアスラへ 北村想
人魚の悲劇 西成彦
百年後の賢治 西谷修
賢治という引力 松田素子

賢治の殺意——『土神と狐』を読む
小森陽一

宮沢賢治略年譜
宮沢賢治ブックガイド

第7回朝日新入文学賞発表

受賞作「金色の魚」
竹森千珂

コンピュータで本づくり「自己出版」の可能性
神足裕司・インタビュー 取材・文／神田憲行

[創作]
石黒達昌 「王様はどのようにして不幸になっていったのか？」

[連載]
大原まり子 ヘルメス・ネットワークカー「ヘルメス・トリスメギストス」
河合隼雄 おはなしコレクション「花咲爺」
久世光彦 「謎の母」
高橋源一郎 文学なんかこわくない「(こんな作家でも)生きていてもいいですか」
原田宗典 その話お変わりございませんか「『じっと我慢の子であった』の頃」
阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「大阪・中座 恋飛脚大和往来」

[エッセイ]
私が小説を書き始めた頃
桐野夏生／真保裕一／藤田宜永

一枚の CD
大槻ケンヂ

北村薫さん、読者に文庫本 100 冊プレゼントする
取材・文／藤村朋子

小説トリッパー 1996 年秋季号

ミュンヘン・ウィーン 古本探しの旅
池内紀

[特集]ホラーが、好き。

ホラービデオ・ベストセレクション 20
電腦怪奇箱
菊地秀行

『怪談』を科学する
鈴木光司×中村希明

[幻想・恐怖短篇競作]

鬼灯（ほおずき） 小池真理子
テレパシー・ラブ 山崎洋子
棘（とげ） 篠田節子
いつまで 今邑彩

ホラー通になるための文庫本 100 冊
井上雅彦

[評論]

恐怖との戯れ
千街晶之

[特集]古本探しのプロになる

古書店特選ガイド 東京・神保町
秋山正美

古書店徹底活用術
秋山正美

「東京・神田神保町」古書店マップ

インターネットで小説を読む

取材・文／神田憲行、新元良一

[新連載小説]

江國香織 「指」
泉麻人 「螺子（ねじ）の町」

[連載]

大原まり子 ヘルメス・ネットワークカー
「HLA（組織適合抗原）」
久世光彦 「謎の母」
池澤夏樹 ヒトの肖像「ブラックホールの奥」
河合隼雄 おはなしコレクション「七夕のおはなし」
阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「秩父夜祭・屋台歌舞伎」

[エッセイ]

私が小説を書き始めた頃
山田太一／松本侑子／大岡玲

一枚の CD

柴田元幸『裏玉姫』（戸川淳とヤブーズ）

小説トリッパー 1996 年冬季号

マドリード 古本探しの旅
野谷文昭

[特集] いじめの向こう側

毛利さんの宇宙少年団の一日
毛利衛インタビュー
取材・文／杉山由美子

金太郎と山姥——江戸時代の母と子
黒田日出男

僕に踏まれた灘校
中島らもインタビュー

自伝的脱学校論
山口昌男インタビュー

映画のなかの子どもたち
川本三郎

大人のための「子供の情景」を読む文庫本
100 冊
池内紀

伸びる娘とわたし 青山南

のんちゃん思春期ですよ
伊藤比呂美

こんな「自然教室」に行ってみたい
池澤夏樹＋姉崎一馬

『銀の匙』と学校 小森陽一

[小説特集「学校の時間」]

緑の猫 江國香織
亀をいじめる 大岡玲
スクール・スクール・スクール 野中柊
リターン・マッチ 湯本香樹実
潮合い 柳美里
空のスクール 角田光代

[対談]

アメリカ・インディアン神話の潜在力
河合隼雄 vs. 中沢新一

1996 これが今年の「トンデモ本」だ！
『と学会』座談会

[新連載]

倉橋由美子 「小説を愉しむための小説毒本」

[連載]

久世光彦 「謎の母」
高橋源一郎 文学なんかこわくない「愛の学校」
河合隼雄 おはなしコレクション「まっぷ たつの男の子」
泉麻人 東京戯れ戯れ話「浮き島の少女」
大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「ハウスキーパー・ヘラ・テレイア」
阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「東京・浅草公会堂 男女道成寺」

[エッセイ]

私が小説を書き始めた頃
奥泉光／浅田次郎／保坂和志

一枚の CD
松浦理英子「ナチュラル・ウーマン」

小説トリッパー 1997 年春季号

ニース・マルセイユ 南仏古本探しの旅
浅野素女

[鼎談]恋愛映画の 30 本

中条省平×藤崎康×筒井武文

[特集]恋の手紙、誘惑の言葉

[恋文企画]

いとしき久里布竹雄様
高樹のぶ子

レンアイいっぱい／でんしふみ抄
伊藤比呂美

ゼルダの恋文 青山南

アポリネールの恋文 中条省平

カフカの恋文 池内紀

カルヴィーノの恋文 和田忠彦

パステルナーク／ツヴェターエヴァ／リル
ケの恋文 沼野充義

[対談]

天心の恋文から漱石・子規の書簡まで
安野光雅 vs.大岡信

父の手紙 佐野洋子

ラブレターに歴史を読む
井上章一

一葉の恋文 森まゆみ

ラブレター分類論 武藤康史

いまどきの恋文

ストーカーしか書かない手紙
宮台真司

手紙をめぐる文庫本 100 冊 武藤康史

[対談]

善悪をこえる倫理
河合隼雄 vs.中沢新一

笑わないノーベル賞作家

カミロ・ホセ・セラ

インタビュー／野谷文昭

音楽が聞こえる 小説ベストセレクション
ジャズ篇 青木誠
ロック篇 北中正和

[連載]

椎名誠 あるく魚「ふゆのかぜ」

江國香織 「テイスト オブ パラダイス」

高橋源一郎 文学なんかこわくない「ニッ
ポン、チャチャチャ」

河合隼雄 おはなしコレクション「創成物
語と両性具有」

倉橋由美子 小説を愉しむための小説毒本
「小説を楽しむこと」

泉麻人 東京戯れ戯れ話「四ツ谷から乗っ
てきた男」

池澤夏樹 ヒトの肖像「ぼくがサルだった
頃」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーカー「変
な色の靴下」

阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「滋賀・長
浜 子供歌舞伎」

【エッセイ】

私が小説を書き始めた頃

篠田節子／多和田葉子／小川洋子

一枚の CD

中島らも「ベガーズ・バンケット」

第 8 階朝日新入文学賞予選通過作品発表

小説トリッパー 1997 年夏季号

ミラノ 古本探しの旅

和田忠彦

[鼎談]

ミステリー映画の 30 本

中条省平×筒井武文×藤崎康

[特集]小説家入門

ウンベルト・エーコの小説の書き方

文・構成／和田忠彦

ウンベルト・エーコ年譜／主要作品リスト

[対談]

小説を書くこと、読むこと

山田詠美×奥泉光

小説は事実より奇なり

中島梓

「作家」になりたいという病

鶴飼正樹

アメリカで小説家になる道は？——日本人

も知っておいて損はない

越川芳明

新人作家のデビュー——フランスの場合

堀茂樹

文章読本 文豪に学ぶテクニック講座

中条省平

小説家になるための文庫本 100 冊

第 8 回朝日新人文文学賞発表

受賞作

算学武芸帳鳳積術

金重明

[連載]

阿部真理子 歌舞伎全国観て歩き「大阪・松竹座 河庄」

椎名誠 あるく魚「桜の木の下で」

江國香織 「飴玉」

河合隼雄 おはなしコレクション「かちかち山」

倉橋由美子 小説を愉しむための小説毒本「老人に楽しめない小説」

泉麻人 東京戯れ戯れ話「面影橋のカリスマ」

久世光彦 「謎の母」

高橋源一郎 with G.T. 文学なんかこわくない「タカハシさん、『ゴーストバスターズ』について高橋さんと語り合う」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「ヒルコ」

[エッセイ]

一枚の CD

糸井重里「29」

私が小説を書き始めた頃

柳美里／馳星周／デビット・ゾペティ

小説トリッパー 1997 年秋季号

ローマ 古本探しの旅
和田忠彦

【特集】いま、なにが差別表現なのか

<特別ロングインタビュー>

ブラック・ユーモアの生命力と差別表現
筒井康隆
インタビュー・構成／小森陽一

90 年代のアメリカ「マイノリティ」映画
とちぎあきら

【鼎談】

差別と文学 漱石『三四郎』を読み直す
小森陽一×富岡多恵子×西成彦

差別語入門 田中克彦

アジアの植民地から読むアルベール・カミ
ユ イ・ヨンスク

成熟社会の差別論
宮台真司

差別の視線と歴史学
ひろたまさき
インタビュー・構成／成田龍一

ホモ狩り、そして言葉狩り——同性愛者と
差別の表現 キース・ヴィンセント

「言わずに言うこと」と沈黙の経験——文
学における責任のために 鶴飼哲

言葉の「使用価値」について 西谷修

差別と向きあうための 70 冊 栗原彬

文庫本 300 冊特集

音楽をめぐる文庫本 100 冊 小沼純一

名作映画を原作で読む文庫本 100 冊
野崎歓

歴史・時代小説の名作を読む文庫本 100 冊
縄田一男

【新連載】

浅田次郎 「天国まで百マイル」
群ようこ あなたみたいな明治の女「家の
女・峰子」

【連載】

椎名誠 あるく魚「ニューヨークからきた
猫たち」

倉橋由美子 小説を愉しむための小説毒本
「思想よりも思考」

久世光彦 「謎の母」

河合隼雄 おはなしコレクション「怖いも
のなしのジョヴァンニ」

泉麻人 東京戯れ戯れ話「デリバリー・ブル
ース」

高橋源一郎 文学なんかこわくない「文学
探偵タカハシさん、『失樂園』殺人事件の謎
を解く」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「母
は死児を抱いて嘆く」

【エッセイ】

一枚の CD 篠田節子

私が小説を書き始めた頃

連城三紀彦／斎藤綾子／町田康

小説トリッパー 1997 年冬季号

[ミステリー特集]女探偵の読み方

アガサクリスティ大研究

数藤康雄

女性探偵の系譜

池上冬樹

翻訳家による 90 年代を代表する女探偵の
肖像

V・I・ウォーショースキー

山本やよい

キンジー・ミルホーン

嵯峨静江

ケイ・スカーペッタ

相原真理子

世界の女探偵プロフィール

千街晶之

[女性作家による女探偵短篇競作]

詩人の死 若竹七海

神の目 今邑彩

バルーン・タウンの裏窓

松尾由美

ミステリー通になるための文庫本 100 冊

<海外編> 法月綸太郎

現代 SF をまるごと楽しむための

文庫本 100 冊 大森望

[鼎談]

アクション映画の 30 本

中条省平×筒井武文×藤崎康

文章読本 文豪に学ぶテクニク講座

中条省平

差別語入門

田中克彦

[連載]

浅田次郎 「天国まで百マイル」

椎名誠 あるく魚「隣の席の冒険王」

群ようこ あなたみたいな明治の女「高群

逸枝・愛鶏日記」

河合隼雄 おはなしコレクション「べに皿
かけ皿」

大原まり子 ヘルメス・ネットワーク「ヘ
カテ（名もなきもの）」

高橋源一郎 文学なんかこわくない「文学
の向う側 1」

泉麻人 東京戯れ戯れ話「ニコタマ夫人」

[エッセイ]

一枚の CD

高村薫

私が小説を書き始めた頃

稲葉真弓／南木佳士／安部龍太郎

小説トリッパー 1998 年春季号

〔特集〕 老いと文学を探検する

＜特別インタビュー＞

田辺聖子

歌子おばあさんが新しい文化をつくる

上野千鶴子

『恍惚の人』と『黄落』のあいだ

〔対談〕

老いの奥行き

鶴見俊輔×富岡多恵子

〔連載〕

椎名誠／あるく魚

浅田次郎／天国までの百マイル

河合隼雄／おはなしコレクション

群ようこ／あなたみたいな明治の女

泉麻人／東京戯れ戯れ話

高橋源一郎(今号休載)

倉橋由美子／小説毒本

〔エッセイ〕

一枚のCD／山田詠美 Micheal Franks

"Sleeping Gypsy"

私が小説を書き始めた頃

清水義範／北村薫／川上弘美

小説トリッパー 1998 年夏季号

〔特集〕戦争はどのように語られてきたか

【鼎談】

戦争はどのように語られてきたか・序
上野千鶴子×川村湊×成田龍一

高橋源一郎／戦争がおわり、文学が……
宮台真司／戦争をしたがっている子どもたち～暴力と共同体
石川文洋／写真で戦争を記憶しつづける

<小説>

目取真俊／魂込め（まぶいぐみ）

<ミステリー特集>

名探偵、トリックに挑戦

竹内靖雄／トリックの経済倫理学
千街晶之／世界の古典派名探偵プロフィール

第9回朝日新人文文学賞発表

受賞作（『天神斎一門の反撃』改題）

乗峯栄一『なにわ忠臣蔵』

第10回朝日新人文文学賞応募募要項

〔連載〕

浅田次郎／天国までの百マイル
河合隼雄／おはなしコレクション
群ようこ／あなたみたいな明治の女
泉麻人／東京戯れ戯れ話
中条省平／文章読本・文豪に学ぶテクニク講座
高橋源一郎(今号休載)

以下、今月号は休載

倉橋由美子 小説毒本

椎名誠 あるく魚

〔エッセイ〕

一枚のCD／奥泉光 Miles Davis
"Premium Best"

私が小説を書き始めた頃

笠井潔／荻野アンナ／乃南アサ／松浦理英子

小説トリッパー 1998 年秋季号

【特集】歴史時代小説の楽しみ方

対談●津本陽×今谷明／織田信長と天皇制
新連載●安部龍太郎／北へ、よう候
短編競作●乙川優三郎／白い月、宮本昌孝
／紅楓子の恋
評論●縄田一男／時代作家気鋭列伝
エッセイ●私が好きな歴史・時代小説の一冊
久世光彦／池内紀／井波律子／児玉清／黒
川創／松村雄策／田中小実昌

【鼎談】

戦争はどのように語られてきたか (2)
大岡昇平『レイテ戦記』を読む
奥泉光×川村湊×成田龍一

目取真俊／ブラジルおじい酒

<ブックガイド特集>

北上次郎が選ぶ「中年男小説30冊」
蔵前仁一が選ぶ「旅の本30冊」
坪内祐三が選ぶ「明治を面白く知るための
30冊」

【評論】

千街晶之／世界のハードボイルド派名探偵
プロフィール
中条省平／文章読本・文豪に学ぶテクニッ
ク講座
宮台真司／自由と秩序～自己決定論と社会
システム理論

【新連載】

連城三紀彦／白光

清水義範／顔

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

【連載】

群ようこ／あなたみたいな明治の女
泉麻人／東京戯れ戯れ話
田中優子／布
椎名誠／あるく魚

【エッセイ】

一枚のCD／真保裕一

私が小説を書き始めた頃

村田喜代子／林真理子／乃南アサ／宇江佐
真理

小説トリッパー 1998 年冬季号

〔特集〕文豪に学ぶ恋愛力

嵐山光三郎／芥川龍之介の恋愛力に学ぶ

画豪江川達也に聞く・恋愛は言い訳だ！

江川達也インタビュー／聞き手＝斎藤美奈子

晴れ、ときどき文学（1）

高橋源一郎／鈴木いづみ——恋愛の政治学

いまどきの恋愛小説／柴田元幸編

レベッカ・ブラウン／私たちがやったこと
ウィリアム・トレヴァー／ピアノ調律師の妻たち

坂本佳鶴恵／社会小説として日本の不倫小説を読む

三浦雅士／向き合うことと横に並ぶこと——村上春樹と恋愛小説の変容

三枝和子／いま、恋愛小説は可能か

堀江敏幸／山の神さまがつける口べに

私が好きな恋愛小説の一冊

荒川洋治／小谷真理／斎藤綾子／安西水丸／竹田青嗣／白石公子

中条省平が選ぶ「恋愛小説 30 冊」

杉山由美子が選ぶ「中年女小説 30 冊」

【鼎談】

戦争はどのように語られてきたか（3）

従軍記から植民地文学まで

イ・ヨンスク×川村湊×成田龍一

千街晶之／世界の名刑事プロフィール

〔創作〕

目取真俊／剥離

黒川創／バーミリオン

〔新連載〕

川上弘美／青い鳥

篠田節子／ホワイトクリスマス

〔連載〕

群ようこ／あなたみたいな明治の女

田中優子／布

安部龍太郎／北へ、よう候

清水義範／シリーズ『顔』 郷里

連城三紀彦／白光

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

一枚のCD／伊藤比呂美

私が小説を書き始めた頃

梁 石日／中島らも／島田雅彦

小説トリッパー 1999 年春季号

〔特集〕新聞小説家としての漱石

生きた文学史と漱石

高橋源一郎インタビュー

／聞き手＝小森陽一

新聞小説家としての漱石

井上ひさし×関川夏央×

水村美苗×小森陽一

新聞連載体験

〔小説家 24 人のちょっと面白い話〕

高樹のぶ子・曾野綾子・浅田次郎・群ようこ・陳舜臣・宮尾登美子・真保裕一・安部龍太郎・村松友視・佐々木譲・椎名誠・乃南アサ・奥泉光・田辺聖子・重松清・久間十義・津本陽・服部真澄・藤沢周・久世光彦・島田雅彦・保坂和志・逢坂剛・阿刀田高

関川夏央／

大正という時代の作品としての吉屋信子

金子明雄／新聞小説を読む――

家庭小説から清張・遼太郎まで

朝日新聞連載小説一覧

新聞小説年表

連続企画・戦争はどのように語られてきたか (4)

〔鼎談〕

井伏鱒二『黒い雨』を読む

井上ひさし×川村湊×成田龍一

玉木正之が選ぶ「スポーツの本 30 冊」

千街晶之／日本の名刑事プロフィール

〔新連載〕

桐野夏生／玉蘭

〔創作〕

目取真俊／面影と連れて

池井戸潤／現金その場かぎり

黒川創／除夜

〔連載〕

川上弘美／青い鳥

篠田節子／ホワイトクリスマス

島尾伸三・潮田登久子／中国子供生活百見

群ようこ／網野菊・ひとりの人

安部龍太郎／北へ、よう候

中条省平／文章読本・文豪に学ぶテクニック講座

田中優子／布

連城三紀彦／白光

清水義範／シリーズ『顔』――旧友

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

一枚の CD 河合隼雄

私が小説を書き始めた頃

江國香織／永倉萬治

第 10 回朝日新人文文学賞予選通過作品発表

小説トリッパー 1999 年夏季号

高橋直子／老猫力

〔特集〕 1999 年の小説教室

〔特別ロングインタビュー〕

村上龍 小説の方法について

聞き手＝中条省平

中条省平／文章読本の変遷

柴田元幸／三角関係としての翻訳

斎藤美奈子／コスプレ文体の技法・初級編

大塚英志／物語の体操

北上次郎／小説は、なぜ古びてしまうのか

〔対談〕

鎖国、殉死、忠臣蔵

宮城谷昌光×山本博文

嵐山光三郎が選ぶ「温泉の本 30 冊」

〔鼎談〕

戦争はどのように語られてきたか (5)

島尾敏雄の戦争文学を読む

高橋源一郎×川村湊×成田龍一

【第 10 回朝日新入文学賞発表】

〈受賞作〉

勝浦雄／ビハインド・ザ・マスク

〔創作〕

堀江敏幸／薔薇のある墓地

藤沢周／シルバー・ビーンズ

黒川創／新世紀

〔新連載〕

小川洋子「貴婦人 A の蘇生」

〔連載〕

大岡玲「人、それを食欲と呼ぶ」

群ようこ あなたみたいな明治の女「小林

信子・従の人」

安部龍太郎「北へ、よう候」

篠田節子「ホワイトクリスマス」

連城三紀彦「白光」

田中優子 布「皮膚その 2 ―― 襲」

島尾伸三・潮田登久子「中国子供生活百見」

千街晶之「歴史上実在の名探偵プロフィール」

桐野夏生「玉蘭」

清水義範 シリーズ『顔』『隣人』

川上弘美「青い鳥」

〔エッセイ〕

一枚の CD 中沢新一

私が小説を書き始めた頃

坂東眞砂子／イッセー尾形

小説トリッパー 1999 年秋季号

丸田祥三／鉄道少年の旅 1980—1999

〔特集〕 方法としての小説とノンフィクション

〔対談〕

小説とノンフィクションの境界を越えて
城山三郎×佐高信

佐高信／“撃つ立場”からのノンフィクションにこだわる

野村進／「魔法の瞬間」に出会う時——体験的ノンフィクション論

久田恵／1999 年のノンフィクション——
『「少年A」この子を生んで……』『学校崩壊』『五体不満足』を読む

永江朗／梶山季之、竹中労、開高健——日本ルポライターの系譜

室矢憲治／ハンター・トンプソンをやっつけろ

心に残るノンフィクションこの一冊
佐野眞一／泉麻人／吉田司／早川義夫／ピーター・バラカン／佐木隆三／乃南アサ／テリー伊藤／川本三郎／羽田詩津子

山崎浩一が選ぶ「ノンフィクション・ライターになれるかもしれない 30 冊」

〔創作〕

堀江敏幸／さくらんぼのある家

目取真俊／帰郷

藤沢周／シルバー・ビーンズ

〔連載〕

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

連城三紀彦／白光

清水義範／シリーズ『顔』『別離』

島尾伸三・潮田登久子／中国子供生活百見

大塚英志／物語の体操

川上弘美／青い鳥

桐野夏生／玉蘭

田中優子／布「皮膚その3——drapery」

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

私が小説を書き始めた頃

山本文緒／乙川優三郎／吉川潮

第 11 回朝日新入文学賞応募要項

小説トリッパー 1999 年冬季号

バンコクのレディボーイたち

〔特集〕20世紀最後の読書計画

【鼎談】

決定！20世紀最後の年に読む100冊

紀田順一郎×久間十義×小谷真理

読んじゃいけない本

白石公子・小沢章友・朝山実・紀田伊輔・酒

井順子・鴻巣友季子

2000年のベストセラーを読む

『聖書』関廣野／『源氏物語』三田村雅子／

『リア王』松岡和子／『資本論』的場昭弘／

『シャーロック・ホームズの冒険』日暮雅通

／『ユリシーズ』柳瀬尚紀／『罪と罰』沼野

充義／『夢判断』香山リカ／『アンネの日記』

岩崎稔／『毛沢東語録』松村伸

【鳥頭対談特別篇】

勉強が嫌で本読んで、仕事が嫌で本読んで

群ようこ×西原理恵子

坂本佳鶴恵／

解説・戦後日本のベストセラー

【世界の大長編一气読み】

茶木則雄／

もだえ苦しむ『大菩薩峠』読書日記

大多和伴彦／

椰子の葉陰で『チボー家の人々』読書三昧

〈ブックガイド特集〉

斎藤貴男が選ぶ「管理社会を読み解く30

冊」

野崎六助が選ぶ「ハードボイルド小説30

冊」

世界の法律家名探偵プロフィール／千街昌之

〔創作〕

目取真俊／署名

堀江敏幸／砂の森

藤沢周／シルバー・ビーンズ

〔連載〕

連城三紀彦／白光

田中優子／布 背骨——時間と自然

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

清水義範／シリーズ『顔』 秘密

川上弘美／青い鳥

大塚英志／物語の体操

島尾伸三・潮田登久子／中国子供生活百見

桐野夏生／玉蘭

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

私が小説を書き始めた頃

香納諒一／柴田よしき

小説トリッパー 2000 年春季号

〔特集〕司馬遼太郎を読む

カラー企画「司馬さんの書斎」

〔特別インタビュー〕

津本陽、「司馬文学」の魅力を語る／聞き手
＝清原康正

〔比較作家論〕

向井敏／時代小説の硬派と軟派——司馬文学と藤沢周平

半藤一利／昭和史をめぐる「俯瞰図」と「リアリズム」——司馬文学と松本清張

鹿島茂／二人の川路大警視——司馬文学と山田風太郎

細谷正充／忍者たちの光と闇——司馬文学と山田風太郎

磯貝勝太郎／司馬遼太郎の“辺境史観”——司馬文学と吉川英治

諸田玲子／司馬文学の「女性像」『燃えよ剣』のお雪

森福都／『項羽と劉邦』のきょうと小蛾
清原康正／司馬遼太郎・傑作短編20選

〔鼎談再録〕

新“国民文学”の旗手の危険な魅力
尾崎秀樹×松浦玲×松本健一

ブックガイド企画

吉川潮が選ぶ「笑いをめぐる30冊」

〔新連載漫画〕

しりあがり寿／“徘徊”老人ドン・キホーテ

〔新連載評論〕

東浩紀／誤状況論

〔対談〕

九〇年代が終わったあとに——ミステリと現代思想、二つの課題

東浩紀×法月綸太郎

〔散文〕

伊藤比呂美／縁の領域

堀江敏幸／アメリカの晩餐

〔連載〕

連城三紀彦／白光

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

清水義範／シリーズ『顔』日常

川上弘美／青い鳥

大塚英志／物語の体操

田中優子／布『織る時空』

桐野夏生／玉蘭

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

私が小説を書き始めた頃

服部真澄／火坂雅志／中嶋博行

第11回朝日新人文文学賞予選通過作品発表

小説トリッパー 2000 年夏季号

武田花／猫のいた場所

〔特集〕 ミステリからより遠くへ

〔特別インタビュー〕

笠井潔「展開する第三の波」

聞き手・構成＝佐々木敦

P O S システム上に出現した「J」

円堂都司昭／本格コードとバーコードが拮抗した九〇年代ミステリ

“京極現象”の特異性

千街晶之／眩惑と逆説の蟹気楼

篠原一／キャラ読みはミステリの敵か

〔対談〕

エラリー・クイーンの手紙はどこに転送されるか？

東浩紀×法月綸太郎

第 1 1 回朝日新人文文学賞発表

〈受賞作〉

辻井南青紀／無頭人

ブックガイド企画

越智道雄が選ぶ

「現代アメリカを読み解く 3 0 冊」

〔新連載〕

池井戸潤／B T ' 6 3

〔散文〕

伊藤比呂美／縁の領域

〔創作〕

目取真俊／群蝶の木

〔連載〕

田中優子／布「包む」

しりあがり寿／徘徊老人ドン・キホーテ

連城三紀彦／白光

小川洋子／貴婦人 A の蘇生

清水義範／シリーズ『顔』『放火犯』

東浩紀／誤状況論

大塚英志／物語の体操」

川上弘美／青い鳥」

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

桐野夏生／玉蘭

〔エッセイ〕

私が小説を書き始めた頃

塚本青史「筆の転身」／藤木稟「何かが弾けた」／藤野千夜「内緒にしていた」／福

井晴敏「貴重な栄養源」

小説トリッパー 2000 年秋季号

〈カラー企画〉

OSAKAストーリー◎砂守勝巳

〔特集〕松本清張・再発見

〔特別インタビュー〕

阿刀田高が語る「清張文学の魅力」

聞き手・構成＝末國善己

藤井淑禎／清張ミステリーの“迷宮”に挑む

保阪正康／『昭和史発掘』を再検証する

今谷明／清張さんの「天皇観」を読み解く

藤井康栄／松本清張の実像

権田萬治／松本清張・傑作短編 20 選

〈ブックガイド企画〉

山本益博が選ぶ「わたしのための美味しい
30冊」

〈新連載〉

イッセー尾形／百番目の湖

〈自伝エッセイ〉

蔵前仁一／僕が「旅行人」をつくるまで

伊藤比呂美／羊僧景戒が「前ぶれ」について
考える縁

〔散文〕

堀江敏幸／ゼラニウム

〔連載〕

田中優子／布「断片」

しりあがり寿／“徘徊老人”ドン・キホーテ

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

連城三紀彦／白光

大塚英志／物語の体操

池井戸潤／BT'63

東浩紀／誤状況論

川上弘／青い鳥

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

〔エッセイ〕

私が小説を書き始めた頃

松岡圭祐「007を夢見て」／

重松清「誰に頼まれもせず……」

小説トリッパー 2000 年冬季号

〈巻頭エッセイ〉

金城一紀／一問一答

〔特集〕 進化する〈吉本隆明〉

対談

「終り」の批評から

石川忠司×池田雄一

インタビュー

宮台真司／思想家としての倫理

評論

藤幡正樹／無限の再現装置

田中庸介／夜中になで回す吉本隆明の詩論

〈新連載〉

阿部和重／シンセミア

朝日新人文文学賞受賞第一作

辻井南青紀／引力圏

〔連載評論〕

東浩紀／誤状況論

田中優子／〈布〉袋

〔連載小説〕

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

連城三紀彦／白光

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

池井戸潤／B T' 6 3

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／〈縁の領域〉死者のまつりの髑
髏の縁

〔連載漫画〕

しりあがり寿／“徘徊老人”ドン・キホーテ

〔読み切りシリーズ 100 枚〕

イッセー尾形／山田太郎がやって来た

小説トリッパー 2001 年春季号

〔特集〕

一番はじめの＜中上健次＞

対談

映画『路地へ』をめぐって

青山真治×松浦寿輝

特別ロングインタビュー

紀和鏡／今はじめて語る、中上健次のこと

評論・エッセイ

大塚英志／啓蒙される主体

宮沢章夫／任意の一点

高山文彦／私の「中上健次」

鈴木孝一／白鳥の歌

〈特別対談〉

「文学を社会学する」ということ

池澤夏樹×上野千鶴子

芥川賞受賞第一作

堀江敏幸／梟の家

〔エッセイ〕

＜私が小説を書き始めた頃＞

横山秀夫「組織と個人の軌轢」

〔連載評論〕

東浩紀／誤状況論

田中優子／〈布〉袋

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア

小川洋子／貴婦人Aの蘇生

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

池井戸潤／B T'63

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／〈縁の領域〉海辺と白蓮と舌の縁

〔連載漫画〕

しりあがり寿／“徘徊老人”ドン・キホーテ

〔読み切りシリーズ 100 枚〕

イッセー尾形／花とカルピスの君

小説トリッパー 2001 年夏季号

〔特別対談〕

批評とおたくとポストモダン

大塚英志×東浩紀

大塚英志／世界と趣向——物語の複製と消費（『物語消費論』より抜粋・再録）

東浩紀／誤状況論

〔第 12 回朝日新人文文学賞発表〕

小野正嗣／「水に埋もれる墓」

柳広司／「贗作『坊っちゃん』殺人事件」

受賞の言葉

選評

奥泉光「開花してこそその才能」

高樹のぶ子「対照的な二本の受賞作」

高橋源一郎「小説が面白いと選ぶのも楽しい（たいへんだけど）」

三浦雅士「物語を発見する物語」

山田太一「『本当のことば』はなかったけれど」

〔新連載〕

火坂雅志／「家康と権之丞」

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア

小川洋子／貴婦人 A の蘇生

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／

〈緑の領域〉 智光が語る頼光の緑

小説トリッパー 2001 年秋季号

〔特集〕新人論

〔特別ロングインタビュー〕

私の職業は『人生家』

石原慎太郎

（インタビュアー：斎藤環）

暗号文としての中原昌也の小説

<新連載>

高橋源一郎／「文学へ」第1回

ポスト「近代文学史」をどう書くか？

すが秀実／「元号」と「世代」をこえて

選別の中のロマン革命

円堂都司昭／中島梓・栗本薫論

寄り道としての旅

柴田元幸／小野正嗣の小説について

蒸気機関車から新幹線へ

三浦雅士×柳広司／

『贗作「坊っちゃん」殺人事件』の速さ

記者の現場から見た四半世紀の新人たち

桐原良光（毎日新聞学芸部）／

浦田憲治（日本経済新聞文化部）

鶴飼哲夫（読売新聞文化部）／

由里幸子（朝日新聞学芸部）

〔朝日新入文学賞受賞第一作〕

小野正嗣／にぎやかな湾に背負われた船

辻井南青紀／バーガープラネット

〔新企画〕

手紙の文章教室

嵐山光三郎／『生き物』となる手紙の書き方

高橋順子／絶交状に至らない非難の手紙

別役実／正しい手紙の書き方

青山南／手紙の書き方をめぐる何通かの手紙

〔連載評論〕

東浩紀／誤状況論

田中優子／〈布〉結ぶ、解く

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

火坂雅志／家康と権之丞

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／

〈緑の領域〉蛇除け蛇墮ろしの薬の緑

小説トリッパー 2001 年冬季号

〔特集〕 平和論

〔対談〕

同時多発テロと

戦後日本ナショナリズム

島田雅彦×小熊英二

〔評論〕 テロリストを撃て

高橋源一郎／「文学へ」第2回

大塚英志／それはただの予言ではないか——
—「戦時下」の「文学」について——

〔新連載 対談〕

仏教への帰還

河合隼雄×中沢新一

恩田陸の世界

〔エッセイ〕

久世光彦／＜陸＞が見る＜海＞の夢

〔デュアル対談〕

エンターテインメント修行

酒見賢一×恩田陸

物語のふるさと——少女まんがとジュヴナ
イルの時代

大塚英志×恩田陸

極私的自作解説

極私的サブカル年表

〔新連載〕

恩田陸／ネクロボリス

〔特別評論〕

丸谷才一／文学は言葉で作る

〔新連載〕

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

「手紙の文章教室」

池内紀／高橋直子／みうらじゅん／川島勝

〔連載評論〕

東浩紀／誤状況論

田中優子／〈布〉「帯」

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

火坂雅志／家康と権之丞

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／〈緑の領域〉「スガルの緑」

小説トリッパー 2002 年春季号

〔特別エッセイ〕

五木寛之／途上にて

〔特別対談〕

梁塵秘抄から和讃へ——親鸞序説

五木寛之×松永伍一

〔新連載評論〕

大塚英志／サブカルチャー／文学論

〔新連載小説〕

夏石鈴子／いらっしゃいませ

〔大型新人一挙掲載〕

野火迅／聖徳の息子

〔翻訳小説〕

レベッカ・ブラウン／柴田元幸訳／

家庭医学事典からの抜粋（上）

〔新連載対談〕

ブッダと長生き

河合隼雄×中沢新一

「手紙の文章教室」

佐藤愛子／有吉玉青／杉本苑子／松山巖

〔エッセイ〕

＜私が小説を書き始めた頃＞

石田衣良「若く、ゆたかで、夢がない」

〔連載評論〕

高橋源一郎／

〈文学へ〉「初期化」された文学

田中優子／〈布〉「檻樓」（最終回）

〔連載小説〕

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

阿部和重／シンセミア

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

恩田陸／ネクロポリス

火坂雅志／家康と権之丞

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／

〈縁の領域〉「悪人せんぼの乳房の縁」

小説トリッパー 2002 年夏季号

猥談

野坂昭如×岩井志麻子

〔2 大新連載〕

金井美恵子／快適生活研究「純な心」

横山秀夫／震度 0

〔対談〕

宗教と戦争——9 月 11 日事件はテロだったのか

橋爪大三郎×島田裕巳

〔第 13 回朝日新人文学賞 発表〕

桜井鈴茂「アレルヤ」

奥泉光「選評」

高樹のぶ子「饒舌おはしゃぎ文体」

高橋源一郎「小説を書くのはほんとうに難しい」

三浦雅士「明るい敗残者たち」

山田太一「選評」

〔翻訳小説〕

レベッカ・ブラウン／柴田元幸訳／

家庭医学事典からの抜粋（下）

〔連載対談〕

仏教への帰還

仏教と性の悩み

河合隼雄×中沢新一

「手紙の文章教室」

北原亜以子／藤田宜永／まっちなつき

〔連載評論〕

大塚英志／＜サブカルチャー／文学論＞

「『文学』である大江健三郎と『サブカルチャー』である村上春樹の間に線引きし、小説家はどこで人殺しをするべきなのかを考える。」

〔連載小説〕

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

阿部和重／シンセミア

大岡玲／人、それを食欲と呼ぶ

恩田陸／ネクロポリス

夏石鈴子／いらっしゃいませ

火坂雅志／家康と権之丞

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／〈縁の領域〉「吉祥の天女の裳裾が染みけがれた縁」

小説トリッパー 2002 年秋季号

〔特集〕 岩井志麻子の世界

〔エッセイ〕

中村うさぎ／妖かしの誘惑

〔デュアル対談〕

色気と文学

久世光彦×岩井志麻子

禁忌と倫理

花村萬月×岩井志麻子

7 人の編集者が語る——岩井作品が生まれるまで

〔特別対談〕

「哲学する」世代間のズレと橋

竹田青嗣×東浩紀

〔連載対談〕

仏教への帰還

仏教と「違うんです！」

河合隼雄×中沢新一

「手紙の文章教室」

連城三紀彦／中島らも／井上一馬

〔連載評論〕

高橋源一郎／〈文学へ〉

「田中康夫、秋の新作レビュー」

大塚英志／〈サブカルチャー／文学論〉

東浩紀／ファンタジーの『国民化』について

〔連載小説〕

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

阿部和重／シンセミア

恩田陸／ネクロポリス

夏石鈴子／いらっしゃいませ

横山秀夫／震度 0

火坂雅志／家康と権之丞（最終回）

〔連作短篇〕

金井美恵子／

〈快適生活研究〉「そんとく問答 1」

伊藤比呂美／〈縁の領域〉「『によふ』の縁」

小説トリッパー 2002 年冬季号

〔官能小説特集〕

「欲情」と「活字」のあいだ

〔創作〕

高橋源一郎／唯物論者の恋

岩井志麻子／樂園に酷似した男

伊藤比呂美／

臭い花 すま子さんのふつうのセックス

みうらじゅん／ラブ・クレイジー

三崎潮／藍の研究 紺色のガウン

〔対談〕

中村・Uと森・Nの正直な告白

——『チャタレイ夫人の恋人』と『ファニー・ヒル』と『O嬢の物語』と『愛人 ラマン』と『カトリーヌ・Mの正直な告白』を読む

中村うさぎ×森奈津子

恋愛難民のためのレッスン

遙洋子×宮崎哲弥

〔評論〕

荒川洋治／男のあとを歩いている

〔コラム〕

神蔵美子／目から鱗のセックス

金塚貞文／

たかがポルノ、されどポルノ……

亀山早苗／不倫の恋とセックス

神崎京介／10 年経って思い出した夢

北原みのり／女のエロ欲望の行方

桜井亜美／Love Junkey

〔創作〕

井上荒野／「夜をぶっとばせ」

〔連載対談〕

仏教への帰還

幸福の黄色い袈裟

河合隼雄×中沢新一

「手紙の文章教室」

角田光代／伊佐山ひろ子

〔連載評論〕

高橋源一郎

大塚英志／〈サブカルチャー／文学論〉

『『シューソカリ』としての文学』

〔連載小説〕

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

阿部和重／シンセミア

恩田陸／ネクロポリス

夏石鈴子／いらっしゃいませ（最終回）

横山秀夫／震度 0

〔連作短篇〕

金井美恵子／

〈快適生活研究〉「そんとく問答 2」

小説トリッパー 2003 年春季号

〔特集〕

苦境ニ効ク文学

〔長編エッセイ〕

玄侑宗久／「まわりみち極楽論（抄）」

〔訪問記〕

司修／「水上勉さんに訊く『雁の寺』の真実」

〔対談〕

詩が救ったわれらの人生

梁石日×金時鐘

〔小説〕

明川哲也／宇津野氏の鬱々授業

〔評論〕

永江朗／本で人生は学べるか

〔1 頁コラム〕

車谷長吉／苦境と文学」

さかもと未明／

キャリア人生に疲れた日には

山本一力／『木を読む』を読むべし

〔新連載〕

宇江佐真理／憂き世店

戸梶圭太／天才パイレーツ

中村うさぎ／月 9

〔連載対談〕

仏教への帰還 最終回

大日如来の吐息

河合隼雄×中沢新一

〔連載評論〕

大塚英志／〈サブカルチャー／文学論〉

「メタファーを望まないファンタジー」

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア

岩井志麻子／樂園に酷似した男

恩田陸／ネクロポリス

高橋源一郎／唯物論者の恋

みうらじゅん／ラブ・クレイジー

〔連作短篇〕

金井美恵子／

〈快適生活研究〉「そんとく問答 3」

三崎潮／〈藍の研究〉「紺鼠のセーター」

小説トリッパー 2003 年夏季号

〔特集〕なぜ、いまファンタジー？

〔対談〕

「歴史」と「ファンタジー」

高橋源一郎×大塚英志

〔特別インタビュー〕

「ファンタジー」から遠く離れて

高村薫 インタビュアー：由里幸子

〔エッセイ〕

世界のファンタジーのいま

巽孝之／アメリカン・ファンタジーの起源

小谷真理／

こわれた世界、もうひとつの祝祭

井辻朱美／世界観からキャラクターへ――

ヒーロー再発見

中条省平／

フランス人はファンタジーが苦手

松永美穂／濃密なファンタジー

〔コラム〕

わたしにとってのファンタジー

石田衣良・小川洋子・小澤征良・乙一・恩田

陸・古川日出男・本多孝好

〔第 14 回朝日新人文学賞 発表〕

駒井れん「パスカルの恋」

受賞の言葉

奥泉光 「選評」

高樹のぶ子 「文学は大人のもの」

高橋源一郎 「『新人』と『文学』」

三浦雅士 「小さな町の小さな季節」

山田太一 「現実とは無縁に――」

〔対談〕

中沢新一×田口ランディ

よみがえる七〇年代問題

〔創作〕

紀和鏡／霧の日 花の日

〔連載評論〕

大塚英志／〈サブカルチャー／文学論〉

「きもちわるい。」

〔連載小説〕

阿部和重／シンセミア」（最終回）

岩井志麻子／楽園に酷似した男

恩田陸／ネクロポリス

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

高橋源一郎／唯物論者の恋

戸梶圭太／天才パイレーツ

中村うさぎ／月 9

横山秀夫／震度 0

〔連作短篇〕

伊藤比呂美／〈縁の領域〉「蟹まんの縁」（最終回）

宇江佐真理／〈憂き世店〉「酔いどれ鳶」

金井美恵子／

〈快適生活研究〉「よゆう通信 1」

三崎潮／〈藍の研究〉「白い糸」

小説トリッパー 2003 年秋季号

〔特集〕日本語のレッスン

〔対談〕

鴻上尚史×齋藤孝

〈ことば〉と〈からだ〉を鍛えよう

〔コラム〕〈日本語を書く〉ということ

藤沢周／邪魔なるもの

佐々木幹郎／「美」という言葉

伊藤比呂美／にほんご

宮沢章夫／ダメなコピー

篠原一／マイクロコスモスからの発信

横田創／義務と技法の言葉

福永信／小説についての小さな説

〔エッセイ〕

加藤重広／日本語が解放されるとき

〔新連載〕

山口雅也／

お遊戯の時間 1 「ぬいのファミリー」

佐内正史 〈撮り下ろしフォト・ストーリー〉

眼差し

〔読み切り中篇 150 枚〕

岡武士／サマーファイトシリーズ

〔評論〕

野崎六助／砂時計のなかの在日

〔連載評論〕

大塚英志／〈サブカルチャー／文学論〉

「スターバックス文学論（なんだか）」

〔連載小説〕

岩井志麻子／楽園に酷似した男

恩田陸／ネクロポリス

高橋克彦／ジャーニー・ボーイ

高橋源一郎／唯物論者の恋

戸梶圭太／天才パイレーツ

中村うさぎ／月 9

横山秀夫／震度 0

〔連作短篇〕

宇江佐真理／〈憂き世店〉「露草の悲」

金井美恵子／

〈快適生活研究〉「よゆう通信 2」

三崎潮／〈藍の研究〉「瓶のぞき」